

ゆめみにゅーす



季刊 VOL. 28
発行日 平成25年5月3日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種260点
鳥類:26種124点
爬虫類:10種40点
(平成25年4月末日現在)

「飼育の日」レポート

平成25年4月20日、今年の「飼育の日」を開催しました。

動物の飼育作業にまつわる裏話などを披露するキーパーストーク、普段は見ることのできない、シベリアヘラジカ舎の清掃作業や動物の餌作りの見学のほか、動物病院では診療に用いる器械のひとつである心電計を実際にお客さんに装着してもらい、心電図の説明を行いました。また、吹き矢体験コーナーでは、思いっきり吹いても矢が筒から出てこない人もいれば、勢いよく的に命中させる人もおり、盛り上がりました。

今年は季節外れの寒波襲来に加えて雨も降り、お客さんは少なめでしたが、来ていただいた方には満足していただけたようです。

来年は晴れて、もう少し多くの方にぜひ体験していただきたいイベントです！

★平成21年、「しいく」にちなんで、日本動物園水族館協会が4月19日を「飼育の日」と制定しました。



▲吹き矢体験コーナーにて。当てるぞー！

飼育員紹介

今年度新たに配属された新人飼育員の紹介です！



ヘラジカ等担当
川上 武 飼育員

4月より、長年希望していた飼育員になることができました。優しい先輩達に囲まれて、一日も早く仕事をこなせるようにがんばります。フレンドリーな飼育員を目指します。

ペンギン、子育て中

今年の3月中旬、フンボルトペンギンの雛が2羽誕生しました。成鳥のような模様はなく、濃いグレー色のふわふわの産毛に覆われています。巣箱の中からは時々、餌をねだるピーピーという声が聞こえます。親は大忙し、雛の分まで魚を食べて巣箱へ運び、すこし消化して柔らかくなったものを吐き戻して与えます。親が疲れて体調を崩した日もありましたが、幸い短期間の療養ですぐに回復してくれました。

雛が巣立ちして巣箱から出てくるまで、もう少しかかります。出てくる日はペンギン次第、私たちにも分かりません。親子とも、その日を無事に迎えられるように、応援しながら見守りたいと思います。

巣穴をのぞこうしたら、両親に怒られました。育雛熱心です。



★ピックアップ動物★

フサオマキザル

分類:哺乳綱 サル目 オマキザル科

頭のとっぺんに黒い房状の毛が生えていることが、「フサ」オマキザルの名前の由来です。ヒトのような顔立ちと表情が、当園でも人気のようです。

家族を中心とした群れをつくり、器用な手足と尾を用いて樹上生活を営みます。野生下では高い木の上から降りることはほとんどありません。主な食べ物は果物で、動物園では数種類の野菜や果物を中心とした餌を与えています。

子どもが生まれると、母親と父親が交替で抱いて育てます。子育てもちろん樹上で行いますが、赤ちゃんが地面に落ちては大変です。そのため、赤ちゃんも強い握力を持ち、両親にしっかりしがみつきます。



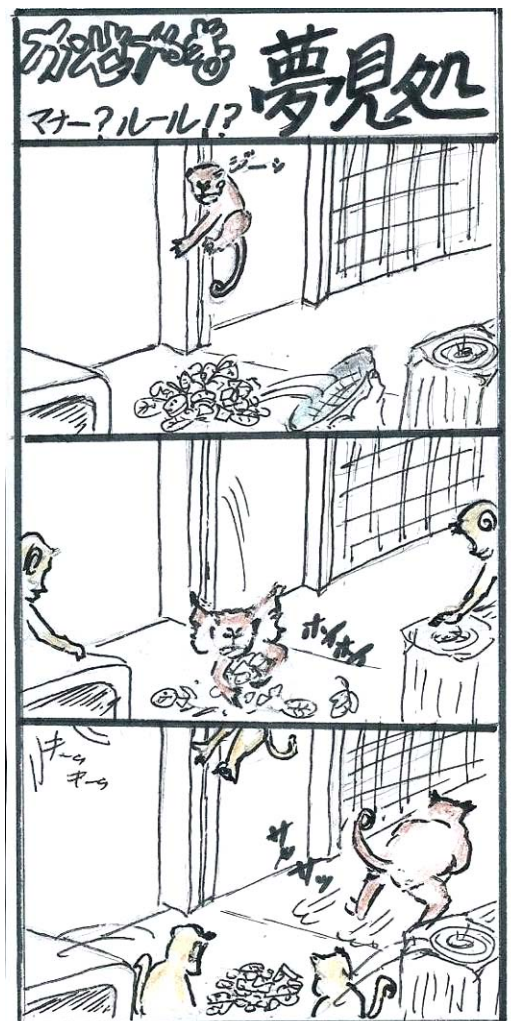
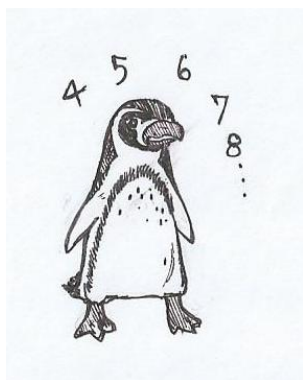
前回はお休みしてしまい、このコーナーのファンのみなさま、すみません。前回から獣医が持ち歩く「7つ道具」について紹介をしているところでした。今回は、その続きです。

4つ目、双眼鏡。人間が近づくと、動物は緊張して自然な動きをしなくなったり、調子が悪いのを隠したりします。そこで、ちょっと離れた所から動物を観察するのに、双眼鏡が役に立ち

ます。私は壊してしまい、デジタルカメラのズーム機能で代用しております。5つ目、メモ帳。めまぐるしく動き回って仕事をしていると、ちょっと気付いたことをメモしないと忘れてしまいがちですが、動物ではこの「ちょっと」が意外と重要なこともあるのです。動物の変化を忘れないうちに書き留めるほか、使った薬の量、部屋の温度、餌の量…毎日たくさん消費します。6つ目、消毒薬。ちょっとした怪我に（動物も、人間も…）役に立ちます。7つ目、時計。特に麻酔薬など、薬を投与してから時間経過を追って動物の変化を記録したり、処置の開始や終了までのリミットを決めたりするのに欠かせません。

このほかにも、手袋やミニタオル等々、もはや7つという数は関係なし、獣医によって持ち歩いているものも微妙に違います。あれも必要な、これも…と、毎日現場に出る前にポケットに詰め込んでいるので、いつか穴があいてしまうのではないかと最近少し心配です。

獣医の日記



★動物たちの主な移動(平成25年2月1日～平成25年4月30日)★

プレーリードッグ(♂1死亡)、ゴイシチャボ(♂1死亡)、フサホロホロチョウ(2羽、他園館へ搬出)、アカハナグマ(♀1死亡)フンボルトペンギン(2羽繁殖)、シロビタイムジオウム(♂1死亡)、ゴイシチャボ(♂1死亡)、ヤギ(♂1死亡)